



市会だより

第107号
令和2年(2020年)
4月15日発行

京都市会ホームページ 京都市会 検索

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713 京都市印刷物 第023012号

2月市会 の報告 前半

令和2年2月市会を2月20日から3月25日まで開催しました。今号では、2月28日に可決した議案のうち令和元年度補正予算(114億4,300万円)の主な内容を紹介します。なお、令和2年度当初予算や議員提出議案など、2月市会後半の審議結果については、次号(5月15日発行)で紹介します。

集中的に 速やかに実施すべき事業等を しっかりと審議。 ~令和元年度 補正予算等を可決~

新型コロナウイルス 感染症対策(10億2,000万円)

相談体制の強化や患者発生に備えた医療等。そのほか、経営に影響を受けた中小企業者等を対象にした融資制度を府市協調で創設。

議論の一部



中国からの物品納入の遅れなど中小企業にも影響が生じていることを踏まえ、市民が安心できるよう迅速に対応すべき。

状況により、新型コロナウイルス対策に関する融資制度の期間延長も検討すべき。



緊急申入れ



2月市会に先立ち、山本議長から市長に対し、市民の不安解消等のため、迅速かつ適切な対応を求めたんだ。

京都市会
マスコット
キャラクター
またきち



大型汎用コンピュータの オープン化の推進(7億6,770万円)

福祉系システムの稼働が当初の予定に間に合わないため、予算を次年度へ繰越し。

市に対して「警告」しました。

背景

- 事業の遅延を受け、2度もの付帯決議を行った。
- とりわけ前回の付帯決議では、市民負担増加や計画の遅延がないよう指摘し、事業の進捗状況を議会に報告することを求めた。

しかし

昨年12月の委員会で初めて福祉系システムの遅延が報告されるなど、上記内容が守られていない。

警告!

- 福祉系システムの稼働日の見通しが示されていないなど、市民理解を得るには程遠い中での補正予算の提案は遺憾。
- 十分な総括を行い、市民に理解が得られる内容を速やかに議会に報告することを求める。

用語解説

大型汎用コンピュータのオープン化…国民健康保険や市税などの様々な業務に活用しているシステムを、コストがかかる特定の事業者固有の技術ではなく、一般に広く利用されている最新技術によって刷新する事業。
警告…可決した議案に付ける市会 の意思。付帯決議よりも強い意思を表す。



道路、橋りょう、河川の防災・ 減災対策等(21億7,200万円)

国の補正予算を活用した緊急対策等。

議論の一部



市民のいのちと暮らしを守ることが行政の役割。都市基盤の整備、防災・減災対策を着実に推進すべき。

学校におけるICT環境 の充実(24億6,000万円)

児童・生徒1人1台PC端末の実現に向けて、全ての市立小・中・高等学校・総合支援学校で、校内通信ネットワークを増強(国の補正予算を活用)。



議論の一部



児童・生徒等のデータ管理や個人情報保護の観点からの対策が必要。

指導方法の習得が教員の新たな負担につながらないか。



端末更新経費などの補助も国に要望すべき。



※追加して提案された令和元年度補正予算(3月25日可決)については、次号(5月15日発行)で紹介します。

主な代表質疑を
2・3面で紹介します!



2月27日、28日の本会議において代表質疑を行いました!

代表質疑とは?

本会議で提出された議案について、議員が各会派を代表して、提出者に対する質疑を行うことです。2月市会では、例年、翌年度の当初予算議案を中心に、市長等に対する代表質疑を行います。